



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6561
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,549	54.5	171	37.2	172	39.4	112	19.4
2019年3月期第3四半期	2,298	-	124	-	124	-	94	-

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 111百万円 (19.8%) 2019年3月期第3四半期 93百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	16.80	16.66
2019年3月期第3四半期	15.95	-

(注) 当社は、2018年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,863	1,134	60.9
2019年3月期	1,167	414	35.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,134百万円 2019年3月期 414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,496	37.1	277	47.4	277	48.4	194	31.3	28.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,150,000株	2019年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	235,200株	2019年3月期	1,250,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	6,688,000株	2019年3月期3Q	5,900,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（四半期決算説明会開催について）

当社は、2020年2月20日（木）にライブ配信での決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢の改善等を背景に国内の景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、東アジアの地政学的リスクや米中の貿易問題等、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当社が関連する情報サービス市場では、IoT、AI、フィンテック、5G等、IT技術の積極的な活用をテーマに企業の投資が拡大しており、今後もさらなる発展が見込まれております。一方で、それらの発展に伴うIT技術の高度化・複雑化により、ソフトウェアの品質向上やセキュリティ対策へのニーズも高まり続けており、第三者検証の専門企業の担う役割もさらに広がるものと考えております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、バルテスを通じて、お客様の品質に対する自信を揺るぎないものにする「VALTES for Quality Confidence」をスローガンとして掲げ、高スキル技術者の確保とサービス品質の向上を成長戦略の中心に位置付け、経営資源を重点的に投下しております。

技術者の確保に関しまして、特に即戦力人材の採用は厳しい状況が続く中、多様なテストプロジェクトに関わってきた当社のノウハウを活かした社内研修制度が、業界未経験者の短期間で戦力化を可能としており、併せて外部協力会社との連携も強化する等、技術者を安定的に供給する体制の構築に取り組んでおります。また、正社員のJSTQB(※1)の保有率が92%(入社2年目以降を対象)を超え、2018年には日本企業として初めてISTQB(※2)のグローバルパートナーに認定される等、サービス品質向上に向けた取組みをグループ全体で行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,549,869千円(前年同期比54.5%増)と堅調に拡大しておりますが、人員不足に伴い外注比率は引き続き上昇傾向にあり、エンジニア確保や技術研究に対する積極的な投資も行った結果、営業利益171,346千円(同37.2%増)、経常利益172,914千円(同39.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益112,367千円(同19.4%増)となりました。

※1「Japan Software Testing Qualifications Board」の略 テスト技術者の資格認定制度の運営団体

※2「International Software Testing Qualifications Board」の略 国際ソフトウェアテスト資格認定委員会

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、外注費増加による利益率の悪化というマイナス要因はあったものの、当社のテストサービスに対する信頼が主に既存顧客との取引拡大に繋がり、外部顧客に対する売上高は3,228,034千円(前年同期比55.2%増)と順調に成長し、セグメント利益は199,441千円(同27.0%増)となりました。

②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、外部顧客に対する売上高は299,354千円(前年同期比58.2%増)と堅調に推移しましたが、人材確保・育成のための費用が先行し、セグメント利益は33,936千円(同51.4%増)となりました。

③オフショアサービス事業

当事業においては、新規案件の獲得に苦戦し、売上高は22,481千円(前年同期比24.0%減)、セグメント損失は12,873千円(前年同四半期は6,876千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,542,253千円となり、前連結会計年度末に比べ659,685千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加557,136千円によるものであります。固定資産は320,845千円となり、前連結会計年度末に比べ35,633千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加56,871千円、繰延税金資産の減少23,274千円によるものであります。

この結果、総資産は1,863,099千円となり、前連結会計年度末に比べ695,319千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は713,272千円となり、前連結会計年度末に比べ7,444千円増加いたしました。これは主に買掛金の増加43,082千円、その他の流動負債の増加44,766千円、1年内返済予定の長期借入金の減少22,546千円、未払法人税等の減少49,837千円によるものであります。固定負債は15,220千円となり、前連結会計年度末に比べ32,023千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少39,831千円によるものであります。

この結果、負債合計は728,493千円となり、前連結会計年度末に比べ24,578千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,134,606千円となり、前連結会計年度末に比べ719,897千円増加いたしました。これは主に自己株式の処分による資本剰余金の増加585,322千円、親会社株主に帰属する四半期純利益112,367千円の計上による利益剰余金の増加、自己株式の減少22,934千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.9%（前連結会計年度末は35.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	292,969	850,106
受取手形及び売掛金	518,032	606,018
電子記録債権	10,860	9,086
仕掛品	14,641	14,005
その他	46,065	63,037
流動資産合計	882,568	1,542,253
固定資産		
有形固定資産	84,511	141,382
無形固定資産	7,248	10,790
投資その他の資産		
繰延税金資産	113,950	90,675
その他	79,502	77,996
投資その他の資産合計	193,452	168,672
固定資産合計	285,211	320,845
資産合計	1,167,780	1,863,099
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,263	116,346
短期借入金	86,500	90,000
1年内返済予定の長期借入金	49,063	26,517
未払金	258,443	267,185
未払法人税等	58,127	8,289
賞与引当金	72,240	51,978
その他	108,189	152,955
流動負債合計	705,828	713,272
固定負債		
長期借入金	42,331	2,500
その他	4,912	12,720
固定負債合計	47,243	15,220
負債合計	753,071	728,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	167,345	752,667
利益剰余金	183,373	295,741
自己株式	△28,250	△5,315
株主資本合計	412,468	1,133,093
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,240	1,512
その他の包括利益累計額合計	2,240	1,512
純資産合計	414,708	1,134,606
負債純資産合計	1,167,780	1,863,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,298,364	3,549,869
売上原価	1,615,271	2,594,111
売上総利益	683,093	955,758
販売費及び一般管理費	558,206	784,412
営業利益	124,887	171,346
営業外収益		
受取利息	5	7
助成金収入	1,691	5,645
為替差益	1,537	1,093
その他	232	185
営業外収益合計	3,466	6,932
営業外費用		
支払利息	1,357	739
支払保証料	683	1,071
株式交付費	—	3,553
事務所移転費用	2,242	—
営業外費用合計	4,283	5,364
経常利益	124,070	172,914
税金等調整前四半期純利益	124,070	172,914
法人税、住民税及び事業税	22,600	37,271
法人税等調整額	7,385	23,274
法人税等合計	29,986	60,546
四半期純利益	94,083	112,367
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,083	112,367

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	94,083	112,367
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△906	△727
その他の包括利益合計	△906	△727
四半期包括利益	93,177	111,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,177	111,640
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月30日に東京証券取引所マザーズに上場しており、それに伴い2019年5月29日を払込期日とする公募による自己株式の処分及び2019年6月28日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式売出しに関連した第三者割当による自己株式の処分を行っております。当該自己株式の処分等により、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が585,322千円増加、自己株式が22,934千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が752,667千円、自己株式が5,315千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,079,532	189,240	29,592	2,298,364	—	2,298,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,598	33,503	4,429	41,531	△41,531	—
計	2,083,130	222,743	34,021	2,339,895	△41,531	2,298,364
セグメント利益又は損失 (△)	157,089	22,420	△6,876	172,632	△47,745	124,887

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△47,745千円は、セグメント間未実現利益の調整額134千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△47,880千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,228,034	299,354	22,481	3,549,869	—	3,549,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,226	33,083	11,204	50,514	△50,514	—
計	3,234,261	332,437	33,685	3,600,384	△50,514	3,549,869
セグメント利益又は損失 (△)	199,441	33,936	△12,873	220,504	△49,157	171,346

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△49,157千円は、セグメント間未実現利益の調整額等42千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△49,200千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。